□ 給　　与

令和7年度新規学校卒業者の初任給です。卒業後に民間の職歴等がある場合は一定の基準で加算されます。期末・勤勉手当（民間企業の賞与などに相当するもの）は6月、12月に支給されるほか、状況に応じて扶養手当、通勤手当、住宅手当等が支給されます。

区　分	初任給（地域手当含む）
薬剤師（病院）	257,348円

□ 勤務条件

勤務時間／原則、午前8時30分～午後5時15分

休　　暇／**年次有給休暇**　●年間20日
●時間単位での取得も可能
夏季休暇　●5日間

このほか、病気休暇や結婚休暇、ボランティア休暇、介護休暇などが取得可能。また、育児休業制度、育児短時間勤務制度なども充実しています。

□ 主な福利厚生

- 年1回の定期健康診断のほか、希望による人間ドックや各種がん検診
- 各種スポーツ大会やレクリエーション行事を開催
- 住宅手当として居住費を一部補助

問い合わせ先

新潟県病院局 総務課人材確保育成班

〒950-8570 新潟市中央区新光町4-1
TEL：025-280-5561
FAX：025-285-3843

新潟県病院局 総務課人材確保育成班　検索

県ホームページ

▼県ホームページ
https://www.pref.niigata.lg.jp/site/byoin/

なりたい
薬剤師へ。

新潟県立病院
薬剤師採用案内

新潟県
NIIGATA PREFECTURE

新潟県立病院薬剤部の特色

「地域医療病院」「地域中核病院」「広域基幹病院」「専門病院（がん、精神）」様々な機能を持った病院があります。

- 全10病院で薬剤管理指導を実施、病棟業務やチーム医療にも積極的に取組んでいます。
- 異動を通じて機能、規模が異なる病院で経験を積むことができます。
- 専門病院の勤務で該当領域について深く学ぶことができます。

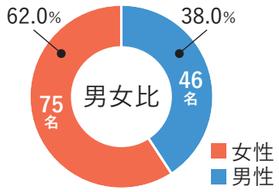
10病院のネットワークを生かし、単独の施設では難しい活動ができます。

- 新潟県立病院薬剤師部会の活動（他病院薬剤師との交流）
- 病院局主催の研修の実施（同年代の他病院、他職種との交流）
- 生涯研修、認定取得の支援（金銭的な支援、先輩薬剤師によるノウハウの支援）

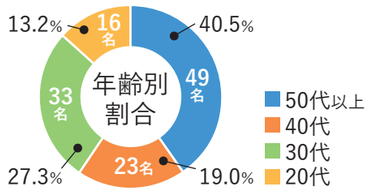
育児支援が充実し、働き続けられる職場環境があります。

- 子どもが3歳になるまで、育児休業を取得することができます。
- 職場復帰後も、育児短時間勤務や部分休業などの制度があります。
- 院内保育所が整備されている病院（中央・新発田）があります。

新潟県立病院の薬剤師の構成
令和7年4月現在



薬剤師数
121名
年齢別割合は各世代バランスよく、長く働いている薬剤師が多い。



新潟県立病院薬剤師部会の活動

「新潟県立病院薬剤師部会」は、10病院に所属する薬剤師で組織しています。
以下のような活動を行うとともに、病院間の交流を図っています。

総　会

年1回、薬剤師部会の会員が集まる機会です。新人薬剤師の紹介があり、薬剤師部会の仲間入りです。本題の後は懇親会も開催されます。

各種委員会の活動

県立病院共通の問題解決のために各種委員会活動を行っています。現在は「学術委員会」「業務改善委員会」「医療安全委員会」が活動しています。

これらの活動が、各病院で活躍する病院薬剤師の業務を支えています。また、病院間の人事異動により、様々な病院での経験を有した薬剤師がいることで、業務改善や見直しについてスムーズに行うことができます。

独自研修会の企画・運営

自分たちで興味のあるテーマを選定し、研修会を開催しています。2019年はフォーミュラリをテーマにして春季に講演会、秋季にグループワーク形式の研修会を開催しました。どちらも有名講師を県外から招いています。

若手、ベテランがバランス良くグループに分かれディスカッションを行いました。県立病院に勤務する薬剤師の全体のレベルアップが期待できる有意義な研修でした。コロナ禍で近年は開催できていませんが、状況をみて再開します。

生涯研修のサポート、専門・認定薬剤師の育成

医療現場には、次々と新しい治療・薬剤が登場してきます。病院薬剤師は、患者さんに対する薬物療法の最適化を支援する薬の専門家として、生涯にわたって自己研鑽に努めなければなりません。

- 県立病院には、病院薬剤師の研修や学会参加にかかる費用を助成する制度があります。
- より安全で有効な薬物療法の実施に貢献し、指導的な役割を担うことのできる薬剤師を育成するために専門・認定薬剤師取得更新を支援する制度があります。

支援項目	対　象	支援内容
研修会・学会参加支援	全　員	業務に関係する学会や研修会への旅費、参加費
認定薬剤師等研修支援	希望者 （選考あり）	新規取得のための研修会等参加費、受験料 資格更新のための審査料、更新料等の費用

主な認定取得実績

県立病院薬剤部にはすでに、多くの認定・専門薬剤師が所属しており、各病院で活躍しています。

認定組織	名　称
日本医療薬学会	がん専門・指導薬剤師
	医療薬学専門・指導薬剤師
日本病院薬剤師会	がん薬物療法認定薬剤師
	感染制御認定薬剤師
	精神科薬物療法認定薬剤師
	妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師
日本緩和医療薬学会	緩和薬物療法認定薬剤師
日本臨床栄養代謝学会	NST専門療法士
日本化学療法学会	抗菌化学療法認定薬剤師
日本医療情報学会	医療情報技師

キャリアパス（入職後５～10年のイメージ）

- 充実した研修支援制度
- 経験豊富な先輩薬剤師のサポート

○病棟担当薬剤師として
病棟薬剤業務や薬剤管理指導を経験し、幅広い知識を有した薬剤師をめざします。

○チーム医療への参画
興味のある専門領域、実際に担当している領域等について深く学び、スペシャリストとしての薬剤師をめざします。

○学術研究や認定・専門薬剤師取得
学会発表や論文作成にチャレンジ、専門・認定薬剤師の資格取得をめざします。

○基本的な薬剤師業務の習得
調剤業務、製剤業務、抗がん剤調製業務、DI業務など薬剤部内業務の習得。

※配属される病院によって業務内容や、経験できる領域は異なりますが、薬剤師として基本となる業務についてはどの施設でも同じです。

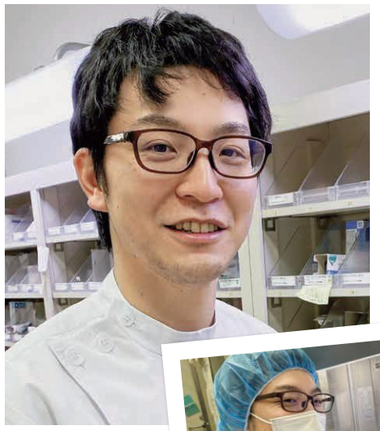
患者さんのニーズや、医療の進歩による多様化により、医療現場では“チーム医療”の重要性がますます高まっています。チーム医療とは、様々な職種が、それぞれの専門性を生かして、協働して取り組むことです。県立病院の薬剤師も各病院でチームに参加し、専門性を生かして活躍しています。

Interview

大平 直樹

出身／新潟薬科大学
採用年度／平成27年度

新潟県立がんセンター新潟病院



【分岐点】

2015年 入庁
新潟県立十日町病院に配属

2016年 結婚

2017年 転勤
新潟県立がんセンター病院

配属になるまではがん患者と接する機会が少なく、がん治療についても苦手意識があった。ここで学んでいくうちに、がんに対して興味を持ち始めた。

2018年 がん専門薬剤師の先輩に刺激を受け、がん専門薬剤師を目指す。

2021年 第一子誕生

初めての子育てに四苦八苦。上司、同僚のサポートを受け子育てと仕事の両立に至った。

2022年 がん専門薬剤師認定試験（筆記）に合格

自身の介入した症例審査の結果待ち。

Q1 県立病院の病院薬剤師を選んだ理由は？

A 新潟県立病院には様々な規模・役割を担っている病院があり、色々な病院を経験できる事が魅力でした。また、患者さんと疾患を薬の視点からだけでなく、多角的な視点から捉えられる薬剤師になり、医師や看護師など幅広い職種の方と関わって仕事をしたいと思ったことが病院を目指した主な志望動機でした。

Q2 現在の業務内容について教えてください。

A 入職後、調剤等の業務を一通り学んだ後は病棟業務につき、現在は製剤室に配属されています。製剤室では病棟業務での経験を活かし抗がん剤の投与量やスケジュールはもちろん検査値や支持療法も問題ないか確認し、安全な抗がん剤治療をサポートしています。また、製品化されていない薬剤の作成（院内製剤）も製剤室の重要な役割です。

Q3 県立病院薬剤師の魅力について教えてください。

A 様々な分野の専門・認定資格を持った薬剤師が多く在籍しています。県立病院は病院間での情報交換もしているため、病院の垣根を超えて相談出来たり、資格取得のアドバイスをもらえます。また、県立病院の研修会や医学会を通して色々な薬剤師の話を聞く機会があり、そこで繋がりができることもあります。そのような交友を通して知見が広がるので自分の成長に繋がります。

Q4 これから求職するひとへのメッセージ

A みなさんの中には薬剤師としての目標がすでにある人、そうでない人がいると思います。様々な規模・専門の病院がある新潟県立病院では多様な業務を経験でき、各分野で活躍する先輩も多く在籍しているため、薬剤師の基礎を身に着けながら興味のある分野を探したり深めることができます。新潟県立病院でジェネラリスト、更にはスペシャリストを目指してみませんか。

Interview

樋熊 聡子

出身／日本大学
採用年度／平成20年度

新潟県立新発田病院 薬剤部

【分岐点】

2015年 第1子出産

2017年 第2子出産

2019年 第3子出産

2022年 職場復帰

Q1 仕事と家庭（プライベート）の両立は可能ですか？

A 私は第1子の時は1年半、第2子、第3子出産後は通算5年間育休を取得させていただきました。この制度はとにかく「ありがたい」の一言でした。この時期しかないわが子の成長を一番近くで見られた事、色々な感情に出会えた事は私の人生においてかけがえのないものになりました。わが子が生まれると出産前の自分が思っていたよりも一緒にいたいと思うものですね。現在復帰後は時短を頂き、委員会や休日の当番も外していただいているため休日子供たちと一緒に過ごさせてもらっています。周りの方々の理解には本当に感謝しかありません。

Q2 薬剤師のやりがいとはどのようなところですか？

A 急性期の病院なので一番困っている時の患者様のサポートができる事に一番やりがいを感じています。また主治医の先生や看護師さんと直接患者様の相談ができるのも病院薬剤師のいいところですね。

Q3 これから求職するひとへのメッセージ

A 病院薬剤師は処方内容だけでなく病態や検査値にも触れて仕事する事ができます。また多職種と連携して日々患者様のサポートができます。とてもやりがいを感じて仕事をしてもらえると私は思っています。私も就職した時にこんなにも育休や時短の取りやすさが大切な事だとは夢にも思っていませんでしたが今身を持ってその大切さを感じています。女性はもちろん、今や男性も育児に積極的に参加する時代です。ぜひ一緒にワーク・ライフ・バランスのとれた仕事をしませんか？皆さんと一緒にお仕事できる事を楽しみにしています。

認定薬剤師
interview

石井 良

出身／昭和薬科大学
採用年度／平成20年度

新潟県立新発田病院

【分岐点】

2006年　県外の大学に進学する。

微生物学や化学療法学の講義に興味を持ち、将来的に地元に戻って感染症に携わる仕事ができればいいな・・・と漠然なイメージを持つ。

2008年　新潟県に入職し県立十日町病院に赴任する。

尊敬できる先輩方の指導の元、薬剤師としての基礎を磨く。1年間感染対策チーム（ICT）の一員として活動するが、当時は何をしていいか分からず右往左往する毎日が続く。

2016年　政府主導の薬剤耐性菌対策（AMR）アクションプランが発表される。

2019年　県立坂町病院に転勤し、ICT事務局として活動する。

2023年　県立新発田病院に転勤

Q1 感染制御認定薬剤師を取得しようと思った理由は？

A 著名な医師の薬剤耐性菌対策に関する講義を拝聴したのがきっかけです。当時は感染対策に関わる業務に就いていませんでしたが、この講義に感化され、微力ながら抗菌薬適正使用の観点から薬剤耐性菌対策に取り組んでいきたいと考えました。抗菌薬適正使用を推進するためは、医師と感染症治療についてしっかり議論できる知識が必要と考え感染制御認定薬剤師を志しました。

Q2 感染制御認定薬剤師としての活動内容は？

A 医師、看護師、臨床検査技師、薬剤師4名から構成されるICTコアメンバーの一員として活動します。専門分野の業務としては、院内抗菌薬使用量の評価、治療薬物モニタリング（TDM）、適正な消毒方法の啓発、感染症治療に関する医師からの相談応需等があります。また1つの病棟で特定の感染症が集団発生した場合は、この4名が中心となり対応策を考えるなど感染拡大を止める実働部隊として活動します。

Q3 感染制御認定薬剤師としてのやりがいを教えてください。

A こういう菌が検出されたけど、どういった抗菌薬を使えばいいか？腎臓の機能が悪いけど投与量はどれくらいが適切？など医師よりいろいろな相談を受けます。感染症治療はできるだけ早く適切な薬を投与することが治療成功率に大きく関わりますので、回答内容の責任は重大です。自分の提案が受諾された場合は責任を持って治療経過を確認していますが、患者さんの治療がうまくいくと、良いサポートができたとやりがいを感じています。

Q4 これから求職するひとへのメッセージ

A 新潟県立病院は各職種間の隔たりがなく、横の連携が強いことが特徴です。私自身の経験からも、領域の異なる各専門職種と意見を交わし易い職場環境こそが、広い視野を持った「医療人」に成長させてくれる場であると感じています。県立病院に興味をお持ちであれば、一緒に地域医療に貢献していきましょう。